

読書は「心の栄養」 ～秋の夜長に 心を耕す一冊を～

木々の葉が色づき、夜の時間がゆったりと流れるこの季節は、古くから「読書の秋」といわれます。ご家庭でも、温かい飲み物を手に、本を開く時間が増えているのではないのでしょうか。

読書は、私たちに様々なものの見方や考え方を教えてくれる「心の栄養」です。例えば、物語に登場する人物の喜怒哀楽に共感することで「他者を思いやる心」が育まれ、図鑑、新書、学術書などを通して「未知なるものへの探究心」がくすぐられます。幼少期に出合った一冊の本、言葉、あるいは物語の一節が、成長の途中で壁にぶつかったときの支えとなり、将来の夢や生き方の道しるべとなることがあります。

本校では、子どもたちが日常的に素晴らしい本と出会い、読書に親しむことができるよう、環境づくりに力を入れています。

「いちよう図書館」の前を通ると思わず足を止めて中に入りたくなるような魅力的な掲示が目に入ります。図書担当の伊藤貴子さんと保護者ボランティアの皆様方が中心となって準備してくださっています。また、本校のホームページでは、子どもたちの発達の段階や興味・関心に応じた「おすすめの本」の紹介を充実させています。名作から、いま話題の新しい本まで、表紙画像や紹介文とともに分かりやすく掲載しています。ご家庭で「次にどんな本を読もうか」と話題にされる際にご活用ください。

秋の夜長、ほんの10分でも15分でも構いません。家族みんなでテレビやスマートフォンを少し休め、それぞれが好きな本を開く時間を設けてみてはいかがでしょうか。「どんな本を読んでいるの?」「このお話、すごく面白かったよ」といった親子の会話が聞こえてきそうです。



環境が整えられた「いちよう図書館」



本校ホームページより

自分の命は自分で守る ～避難訓練を実施（10月26日）～

休み時間に震度5強程度の地震が発生し、その後家庭科室で火災が発生したことを想定した避難訓練を実施しました。今年度、3回目の避難訓練になります。

全校の子どもたちが、グラウンドへの避難に要した時間は、4分19秒。授業中であれば、先生の指示に従って避難できますが、休み時間には、緊急放送をよく聞き、「どこで火災が発生し、どの経路で避難をしたらよいか」を自分で考え、周囲の状況を確認して避難することが大切です。

避難後の講評では、津島稯副校長が、「自分でよく考え、判断し、行動することができたか」をポイントに訓練を振り返るよう、子どもたちに話していました。



はとの子の活躍 ～入賞おめでとう～

吹奏楽部のうれしいお知らせです。

10月17日にあきた芸術劇場ミルハスで開催された「第33回小学生バンドフェスティバル」において奨励賞を受賞し、来年1月30日に仙台サンプラザホールで開催される「第40回東北小学校バンドフェスティバル」に秋田県代表として推薦されました。おめでとうございます。



教育実習の先生方にも

演奏をプレゼント♪

「心をついに 感動の花を咲かせよう」をテーマとして、「サウンドオブミュージックメドレー」と「花は咲く」を演奏し、会場に「はとの子サウンド」を響かせていました。

.....

Junction Sports Club に所属している6年A組の大淵龍祐さんと4年A組の伊藤耀星さんが、10月17日に開かれた「第40回秋田県ジュニア新体操選手権大会」において優秀な成績を収めました。おめでとうございます。

○大淵龍祐さん

- ・男子団体 ジュニア 優勝 得点 9.100
- ・男子Bクラス個人総合 2位 得点 21.450
- ・男子Bクラス ロープ 優勝 得点 12.000
- ・男子Bクラス クラブ 2位 得点 9.450

○伊藤耀星さん

- ・男子団体 小学生 優勝 得点 3.300



大淵さん



伊藤さん